

短歌 小宮山 久子 選

入選 給料の割は本買うべしと言われし日々の形見捨てがたく ハナモモは落ち葉も庭を築しますカラフルな葉の厚く積もりて 百本の大根漬けし亡き母よ私は沢庵一本を買う

佳作 介護の勞葬儀の勞の力抜け肩の荷スッキリ降り降ろして眠る

もてあます不安玉という大きなボール蹴り飛ばしたいカターの空へ 行くまいと心に決めて又迷ふ三十年出ぬ同級会に 交流もふれ合ひも減り年の瀬に 五度目の接種してはいるけど

《選者評・一首目》 本を沢山読むように勧められて若い日に買った本は、その頃の形見といふべきもの。だから捨てられないのです。結句の連用形中止にも迷う気持ちが出ていて効果的です。

《選者詠》 雪まとふ東の山はつつましく夕映えてをり 寒の目を上ぐ

俳句 島田 洋子 選

入選 大粒の涙の形ラ・フランス 立ち上る蒸籠の湯気年の市 農仕舞奥歯に染みる新走

佳作 霜の朝堂全開し勤行す 森深く紅天狗茸異界なる

豆脱穀機械の機嫌伺いつ 秋入日編集会議遅々として 好奇心勝る猫の目初氷

十二月三頭獅子の舞納め 共白髪湯飲み二つの炬燵かな

《選者評・一首目》 確かにラ・フランスは、今こぼれんとする涙の瞬を描いた形のように。涙の形と言いつつ切ったことで、句に説得力が生まれました。

《選者吟》 里山のごつんと在りぬ霜の朝

川柳 斉藤 俊 選

入選 得る知識よりも先行く物忘れ あたたかい風呂と寝床はわが至福

寝そびれてオリオン魅入る深夜二時

《選者評・一首目》 簡単に頷きたく無い一句。でも的を射た表現に脱帽。若い頃には考えられない事、今となっては、慌てすじくりと...ですな。

《選者吟》 へぼ将棋取り巻く野次が勝負決め

佳作 挨拶に一言嬉し褒め上手 小春日の障子張り替え暮れ終わる

桜餅ひとつで弾む午後のお茶 餅背負い初の子孫が歩き出す

八十路過ぎサッカー夢中若返る 生命線金運よりも俺大事

物言えば負けそうだから笑うだけ

《選者評・一首目》 簡単に頷きたく無い一句。でも的を射た表現に脱帽。若い頃には考えられない事、今となっては、慌てすじくりと...ですな。

《選者吟》 へぼ将棋取り巻く野次が勝負決め

3月16日(木)必着

5月号の投稿方法

- 種類ごと別々ののがきで裏面に住所、氏名(フリガナ)、短歌・俳句・川柳の別を記入のうえ、下記へ(未発表作に限る)。
●添削を希望する場合は、往復はがきにご自分のあて先を記載のうえ、投稿してください(短歌は2首まで。掲載作への返信は除きます)。
●はがきに記載された個人情報につきましては、作品の表彰および添削以外には使用せず、選者以外の第三者に提供することはございません。
●掲載作は、選者が添削して掲載する場合があります。
●宛先 〒386-8601 (住所不要) 交流文化スポーツ課宛
☎ 交流文化スポーツ課 ☎75・2005

「太陽と大地の聖地」上田市日本遺産だより



上田市日本遺産構成文化財紹介 vol.20 べっしょじんじゃほんでん 別所神社本殿



別所温泉常楽寺の東隣に別所神社があります。古くは「熊野社」といわれていましたが、明治11年に別所神社に改められました。拝殿の奥には、江戸時代に建てられた、華やかな彫刻が施された本殿があります。その背面には縁結びの神を祀った祠があり、神社入口の鳥居の額に「本朝縁結大神」と掲げられています。拝殿の隣には神楽殿があり、奥からは塩田平や浅間連峰、冬至には富士嶽山からの日の出が望めます。また、別所神社は夏に開催される雨乞い祭「岳の職」の終着地であり、三頭獅子舞やささら踊りが奉納されます。



別所神社(左:拝殿、右:神楽殿)

神楽殿から望む風景

文化財所在地 別所温泉2338

☎ 上田市日本遺産推進協議会事務局(交流文化スポーツ課内) ☎75・2005

名誉市民 故金子宏氏の 上田市葬を行います



◆金子宏氏の功績

金子宏氏は、上田市殿城出身であり、東京大学に進学後、租税に関する研究を重ね、租税法を独立した法分野に発展させるとともに、地方税法においても公平・適正な課税に多大な影響を与え、広く地方自治に貢献されました。また、課税要件の理論的解明という課題に初めて取り組み、今日の租税法学

の基礎を築かれました。

こうした業績をあげられたことから、平成30年には、上田市出身者として初めて文化勲章を受章されました。市では、金子氏の極めて顕著な功績

令和4年8月23日に91歳で御逝去された上田市名誉市民である故金子宏氏の生前の御功績をたたえ、哀悼の意を表するため、上田市名誉市民条例に基づき上田市葬を執り行います。多くの市民の皆様への御参列をお願いします。

を顕彰するため、令和元年に、新上田市発足後3人目となる上田市名誉市民の称号を贈呈させていただきました。

◆金子宏氏の略歴

- 昭和5年 殿城村(現 上田市殿城)に生まれる
昭和24年 上田松尾高等学校(現 上田高等学校)卒業
昭和28年 東京大学法学部卒業
昭和41年 東京大学法学部教授
昭和47年 租税法学会理事長
平成3年 東京大学名誉教授
平成13年 税務大学校特別顧問

●このほか、政府税制調査会委員や地方財政審議会固定資産評価分科会特別委員などの要職を歴任されました。

◆表彰歴

- 平成11年 紫綬褒章
平成17年 瑞宝重光章
平成24年 文化功労者
平成25年 上田市功労者表彰特別表彰
平成30年 文化勲章
令和元年 上田市名誉市民



◆市葬

- 期日 3月17日 金曜日
●場所 上田市交流文化芸術センター(サントミュージゼ)小ホール
●形式 特定の宗教によらない献花方式
●内容/時間 ①葬儀式/午前10時~11時15分 市内各種団体の代表者の皆様などに御案内状をお送りします。
②お別れの会/ 午前11時30分~正午(予定) 市民の皆様による献花です。どなたでも参列いただけますので、直接会場にお越しください。なお、「①葬儀式」には参列いたできませんので、御了承ください。

誠に勝手ながら、御香典、御供花、御供物などの儀は、謹んで御辞退申し上げます。

☎ 秘書課 ☎22・3435